

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	保育園夢未来錦糸町園
施設所在地	東京都墨田区太平3-3-12 アドバンス喜月ビル1階
法人名	株式会社 我喜大笑

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

当園はワンフロアで、隣のクラスとは完全に壁で塞がれているわけではなく、壁の上部が開いていたり壁も透明となっていたりする為、園内のいろいろな音が良く聞こえてくる。他のクラスの音楽や友だちや先生の声、さまざまな音に普段から触れる機会が多い。そのような環境である特性を活かし、さまざまな音に触れたり、音が鳴る原理を考えたりする機会を作る為。

2. 活動スケジュール

- ① 1月28日 音とは何かを考えてみる
- ② 1月31日 様々な楽器に触れて違いに気づく
- ③ 2月14日 音程・音階のある楽器（旋律を奏でられるピアノ）に触れる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・太鼓・カスタネット・鈴・タンバリン・ピアノ・トライアングル・ウッドブロック

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①机に伏せて目を閉じて耳を澄まし、その中で聞こえてくる生活の音を感じる。聞こえてきた音がどんな音だったか、2～5歳児の異年齢、数人ずつのグループで意見を出し合い、発表する。そこから楽器の存在に気づく。
- ②様々な楽器に触れ、リズムを刻める事、高音・低音がある事に気づく。
- ③音の高低差に気づいた事から音程・音階のある楽器に触れメロディーを感じる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ①静かに耳を済ますとトントントン・・・と給食室から音がしたり、ブーンと車が通る音が聞こえてきた。他にどんな音が日常的にあるかを尋ねると、「バシャバシャ」「カンカン」「ドンドン」等、さまざまな音が子ども達から言葉として出てきた。「それはなんの音かな？」と聞いていく中で、太鼓や鈴の音という言葉が出たので、次は楽器に触れてみようというねらいも立った。また、活動後の散歩では工事現場の音を聞き、「先生、大きい音がするね」と、聞こえてくる音に興味・関心をもつ姿も見られた。
- ②さまざまな楽器を自由に触れ、それぞれの楽器の違いをグループ毎に話し合ったり、太鼓の音や鈴の音の違いを比べてみようとしたりする中で、音に高低がある事に気づき、次回は音程・音階のあるピアノに触れようというねらいを持った。この日、床に置いてあったタンバリンの側で、たまたまジャンプをしていた子が、タンバリンに触れていないのに音が鳴る事にも気づいた。「なんで音が鳴るの？」と保育士に疑問を投げかけ、まわりの友だちと一緒に探究をしていた。床からの振動で鳴っている事に気づく子もいた。
- ③ピアノに触れた。唄口からの息の入れ方で音の大きさが変わる事に気づき、息の入れ方を調整しようとしたり、吹き方によってリズムを変えられる事にも気づいた。「ド・レ・ミ・・・」と音階にそって音を鳴らしてみたり、音階で書かれた簡単な童謡の楽譜を見ながら弾いてみると、メロディーが奏でられる事に喜ぶ姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

様々な音を聞いてみようとしたり、楽器に触れたりすることで、子ども達は“音”に興味・関心を持ち、音を鳴らす事、一緒に奏でるという事の楽しさも感じていた。また、探究活動の時間以外でも音についての意識が高まっている様子が見られ、保育士側の受け止め方や言葉掛け次第で、音についてさらに詳しく知ろうとする力が芽生えることにも気付いた。“音”についてだけでなくさまざまな状況においても、子ども達からの発信に耳を傾けて言葉や感性を受け止め、認めていく事で、子ども達の心もより豊かになるだろうと感じ、子どもも保育士もとても良い経験となった。